

おお大勝利

平成 24 年度山東サッカー部報第 7 号 (6 月 4 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

羽黒に完敗！ 県総体ベスト8で散る

6月1日(金)~3日(日)酒田市にて県総体第二ラウンド(準々決勝~決勝)が行われました。1日山東の対戦相手は、昨年まで4年連続インターハイに出場している王者羽黒高校。今年優勝すると5年連続出場となるが、優勝校の履歴を確認すると山形から5年連続出場校はまだ出ていない。羽黒高校をどこが止めるのか、はたまた羽黒が県で史上初の5回連続インターハイ出場となるか。ベスト8の山で山東が第二シード校羽黒と対戦するのは、昨年のY1(県リーグ1部)の結果が良くなかったから。山東が第七シードとして羽黒とベスト8の山で対戦する組合せとなるのは、昨年の段階で分かっておりました。山東としては、シード校にとっての初戦である2回戦にしっかり勝って、羽黒に挑戦させてもらいたい、というのが大会前の心境でしたが、部報前号にてお伝えしたように前週の劇的逆転勝ちにより、第二ラウンド羽黒戦に何とかこぎつけました。

前日5月31日(木)に酒田入り。というか、配宿先は前週と同様、鶴岡市湯野浜温泉。チームバスをもたない山東としては、宿舎が会場から遠いのは痛い。前週はジャンボタクシーを利用することで乗り切りましたが、今週は応援組(26名)のバスを大型にして、湯野浜経由で全員で酒田に行く計画を立てました。そんなことより(サッカー競技全体で)困ったのが、宿泊するサッカー競技の全チームが同じ宿舎であったということ。対戦前や対戦後に、相手チームと同部屋で食事を摂るとか風呂を一緒に入るとかいう事態は当事者としては避けたいところ。無用の緊張を生むわけで、「この配宿はあり得ない」と多くのサッカー関係者が憤っておりました。配宿される担当の方も大変かと思いますが、まず対戦チームの宿泊先を分けるということ配宿の第一にして頂きたいと感じました¹。5月31日に遅めの夕食を摂っていると、配膳の列が日大山形、東海大山形、山形東の順に三つあることに気づく。仲居の方に「日大山形と東海大山形、明日(6月1日)の結果によっては2日に対戦するので、三つの列の真ん中に山形東をもってくるといいですよ」と告げる。すると、翌朝、朝食の列が変更になっていたのは良かったものの、山東の列が日大の列と交換になり、山東が逆側の端っこに移っていただけなのにはズッコケてしまいました(結局、日大と東海は並ぶので)。

さて、31日に遅めの夕食を摂っていたのは、31日の授業終了後16:00出発で湯野浜入りし、18:00過ぎから前日練習を開始したから。軽く動くだけにするかと思

¹ 山東は二回戦、準々決勝とも庄内のチームとの対戦だったので、問題はありませんでした。

いましたが、前週の経験で近くに天然芝のグラウンドがあったことに気づく。歩いて行ってみると、そこは湯野浜小学校。「使用の許可を得ていないけど、誰も使っていないし、遅い時間だし、まあ良いだろう。もし誰かが怒って来たら、センドー、お前が代表して謝りなさい」などと責任転嫁の冗談を言った後、ランニング・ストレッチをさせていると、本当に小学校から代表の方が現れる。「ま、まずい」と思い、退散する気満々でいると、しっかり手続きを取れば使用して良いとの柔軟なご判断。聞くと湯野浜小学校の教頭先生とのこと。この温かな対応に感謝しつつ、1時間ほどランニングシューズでボールを蹴り天然芝の感覚を楽しみました。日大山形、東海大山形は公欠を取り、山形で練習した後、移動してきたとのこと。私立との違いを感じました。

さあ試合当日6月1日。天気は快晴。快晴ばかりか、太陽の周りに虹のリングが出来上がっている。相当珍しい現象らしいのですが、サッカーでも珍事（波乱）が起きることを予想させる。これは勝ったか、などとベンチで勝手な空想にふける。もちろん山形から、清野 OB 会長と報道局長が来て下さっている。また、この春の山梨遠征に付き合ってくれたヤスオや卒業したての OB 数名が来ている²。やはり皆さん、この戦いが山場であることを理解している。会場は4年前の県総体と同じ酒田市飯森山 G。先週のクレー（土）から天然芝へと環境は変わったものの、前日練習で芝を味わった分、適応は早いのではないかと勝手に解釈。守備では、取り所を後方にするリトリート（退却）作戦を採用した訳ではありませんが、ボールへのプレッシャーを強めることより、守備の陣形を整えることを優先。まずは集中した守備を重視しました。また、前の試合で山南がロングスローから失点していたことに鑑み、その対処を確認。攻撃では、守備から攻撃へと移る際の切り替えのスピードの速さが山東の攻撃の要と判断。パサーがワンタッチで出せるタイミングで動き出す、その出し手と受け手の（早い）呼吸を合わせることを確認して試合に臨む。

試合が開始されると、やはり羽黒に押し込まれる。押し込まれながらどう耐えるかが鍵だが、クリアしてもスローインをことごとくロングスローでゴール前に入れられてしまうため、終始ハラハラドキドキ。やはり、ボールを奪い切る、クリアするにしてもクリアをパスにする、または、クリアするにしても大きく前方に行くなどして、相手 FW によるロングスローを極力させない対処が必要なのだが、どうしても深い位置でスローインを与えてしまう（特に左足のキックが求められる左サイドにおいて）。ただ、DF の集中力は高く、FW やサイド MF も長いボールに体を張って絡むので、劣勢ではあるものの山東に面白みのある前半となる。「このまま前半0 - 0 で乗り切れれば、王者が焦ってくるから楽しみだ」などと監督が邪念をもつからいけないのか、20分過ぎ、相手 FW に振り向きざまの豪快左足シュートによる先制を許す。ん～、苦しい。こういう力の差のあるゲーム、下のチームが得点すると試合はがぜん面白くなるが、上のチームが先制すると「やっぱりか」と観客も選手たちも思ってしまう。前半のうちに追加点を許す展開もあり得たが、何とか耐えて、前半を0 - 1で折り返す。

ハーフタイム、いろいろ足りない点はあるものの、DF の頑張りを評価。特に、守備的戦いになることを前提に守備力があるということでボランチで起用した2年

² ヤスオと同期のノリは、会場へと運転を急ぎ過ぎて、逆に遅れることになった模様。

ヤグチのプレーを褒める。この選手、ハートが弱く、弱気なところが攻守にわたりミスを招く悪循環があり、伸び悩んでおりますが、きっかけさえあればもっともっと活躍できる選手。この大舞台での起用が吉と出るか凶と出るかと心配されましたが、積極的な守備でチームに貢献。あとは、その頑張りに応え、後半攻撃陣が少ないチャンスをものにできるか。

ただ、山東ベンチがまずまずの評価を与えていたとすれば、羽黒ベンチでは厳しい檄が飛んでいたのでしょうか。後半立ち上がり、羽黒の猛攻を受ける。こういう流れが重要な試合、入りで耐える流れが出来上がれば何とかなることが多いのですが、「『後半立ち上がり、相手はガンガン来るから、心して戦え』って言い忘れたな〜」などと若干後悔して戦況を見つめると、やはり後半5分ほどの時間に攻撃を耐えることができず、追加点を許す。二点差は本格的に苦しい。しかし、キックオフ前、DF陣が集まって自分たちで問題を解決しようと話し合っている。こういう自主的な姿勢に欠ける点にこのチームの欠点をこれまで見出してきただけに、その姿を心強く眺める。結局その後、攻撃で惜しいシュートすら放つことができず、もう一点同じ角度から失点し、0 - 3で試合終了。

守備の陣形は整っており守備の集中（意識の集中ではなく人の集まり具合）はあっても、ボールが縦に入ったときにしっかり厳しく跳ね返す守備の厳しさに欠ければ、人がいても何の意味もない。相手DFラインで相手に自由にボール回しさせるのと同じ感覚でボールが縦に入ったときもただ見ていることがしばしばありました。そのように守備を分散させる羽黒の攻撃が素晴らしいと言え、まさにその通りで、最後まで力の差を埋めきれませんでした。ベンチワークによりもう少し接戦にすることができたのではとの後悔はありますが、0 - 3の差がついたとはいえ、山東サイドからこの試合を見ると非常に締まった試合であり、選手たちは死力を尽くしたと評価したいと思います。

思えばこのチーム、選手権・県新人で1勝も上げることができず、県リーグでも苦しい試合が続き、偉大な先輩方との違いばかり意識させられ、気持ちが悪くなるようなこともありました。県新人後には、主将から部員全員が退部させられるなどという「事件」も発生しました³。その状態から冬場着実に力をつけ、県リーグでの苦しい試合の一方で地区総体では優勝と、うれしい「誤算」も経験しました。いろいろありましたが、楽しいことの方が多かったです（顧問としてかかわっていた）。3年生には、「県リーグ一順するまで（7月中旬まで）リーグを務めるのがリーグに所属しているチームの責任では？」と言葉を投げかけていましたが、敗戦翌日に意志確認してみると全員が県総体を機に引退するとのこと。（県リーグを重視するという立場から考えて）残念ではありますが、致し方ありません。7月中旬に引退式を開きますので、その報告は後日いたします。

県総体に当たり、多くの方の応援を頂きました。山東の県総体に注目・応援を頂いたすべての方に感謝申し上げます。保護者会の皆さまからは、第一ラウンド、第二ラウンドともに、差し入れを頂戴しました。ありがとうございました。

テスト休み明けから新チームで始動します。県リーグの次戦はちょっと空いて、6月30日（土）U16県トレセン戦 10:00～@山形中央Gとなります。

³ 結局全員が部に復帰。